私たちが作りました！

市民みんなが観光大使

「ぐるたび」では、2014年に高崎市が認定した観光大使が、高崎の魅力を日々発信しています。

高崎の旬の話題やグルメ情報、おすすめスポット、イチオシのお土産などを地元目線で紹介。
高崎在住の方だけでなく、市外の方にも楽しんでいただける情報が満載です。
高崎にお越しの際は、ぜひ参考にしてください。

ぐるたび　高崎　検索

詳しくは「ぐるたび 高崎」で検索
またはQRコードをスキャン！

お問い合わせ

- **高崎市役所 観光課**　TEL 027-321-1257　高崎市高松町 35-1
  http://www.city.takasaki.gunma.jp/
- **(一社)高崎観光協会**　TEL 027-330-5333　高崎市八島町 32-2 岩崎ビル 2F
  http://www.takasaki-kankoukyoukai.or.jp/

高崎を歩こう！vol.2　特集：高崎を支える水路　長野堰用水

発行：(一社)高崎観光協会　高崎市八島町32-2 岩崎ビル2F　http://www.takasaki-kankoukyoukai.or.jp/
制作：(株)SDI総研

● 高崎市公認　観光大使がオススメする

高崎を歩こう！

vol. 02
2017 春

特集 | 高崎を支える水路　長野堰用水

特集

高崎を支える水路

長野堰用水

高崎市の西から東へと流れる長野堰用水。
平安時代に開削され、その後、戦国時代に箕輪城主・長野業正が整備したと言われています。そのことから“長野堰”と呼ばれるようになったようです。
農業用水として誕生し、生活用水として、また染色・製紙業のほか、醤油作りや銭湯などにも利用されてきました。
改修をかさねた現在も、烏川から最大6.8t/秒の水を取り入れ、高崎の台地を潤しています。

01

02

03

04

05

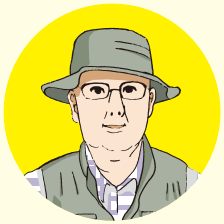
06

07

08

09

01 長野堰のスタート地点。烏川の水を取り入れる第一頭首工　02 上並榎町の水門　03 大橋町のポケットパーク。水路沿いに全11か所ある　04 住宅地を通る高砂町の水路　05 江木町の円筒分水。ここから4つの水路に分かれる　06 今も昔も長野堰からの水をたたえている高崎城址のお堀　07 長野堰沿いには農業の発展に伴い、伝統芸能も生まれた。獅子舞もその一つ　08 2016年世界灌漑施設遺産に登録された　09 現在も農業用水としてなくてはならない存在



歴史研究家
綿貫 鋭次郎さん

これまで高崎市や群馬県の埋蔵文化財調査、教職に従事。高崎市在住。

“世界灌漑遺産長野堰用水”

私たちの祖先は、火山灰の厚く積もったこの台地に烏川の水を引くことで、米作りの沃野に変えてきました。この地に暮らす農民は『土づくり』『肥づくり』そして『種づくり』に励み、春には麦秋、秋には豊かに頭を垂れた稲穂が黄金色に輝き、その稔りをもたらす見事な二毛作の田園を切り開いてきました。台地に引かれた豊かな水は、田を潤し、お城の濠を満たし、各所に水車が回り、生活用水としても産業用水としても、この地に暮らす人々にはなくてはならないものになりました。その水面には、水とともに生きた人々の生活が映し出されています。